

あかりや日誌	
2月6日	愛生園でボランティアとりすさん、お兄ちゃんとの顔合わせ。(園の職員後見人も来られました。)
7日	朗読練習会
9日	愛生園訪問
15日	訪問美容
21日	朗読の会
25日	手芸の会 (キルト袋物)
3月6日	須磨区ボランティア交流会
7日	朗読練習会 (あかりや)
11日	手芸の会
21日	朗読の会 (たちばな研修センター)
25日	手芸の会
30日	第10回ほっとぽっと朗読発表会

朗読の会	
3月7日	3月21日
いずれも木曜	13:30~15:00
朗読発表会に向けて練習もあと2回。皆さんの熱も上がってきています。21日は会場の「たちばな研修センター」で練習します。7日はいつも通りあかりやです。	
聴いてみたい方、見学参加でもどうぞ。	
参加費(資料代・お茶代300円)	

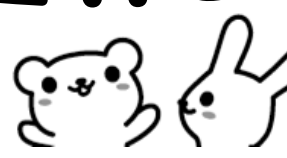
ほっとぽっと このごろ	
★	早くも3月の声。今年も朗読発表会の月になりました。10回の節目と言っても、特に「記念」的な内容も思いつかないまま、いつもと同じ・・・とはいえ、いつも全力なんです(笑)多様な読み手による渾身の朗読、ぜひ聞きに来て下さい。
★	しばらくお休みだった「ギャラリーあかりや」ですが、また個展の計画がぼちぼち・・・。3月31日から一週間、今年も、こたろう君の墨絵の個展が始まります。またあかりや主催で岡田さんのキルト作品展も交渉中。サキモト女史は、自分の書いた物語のジオラマ展をするのだ、と張り切っています。あれこれイメージを膨らませすぎて、いつになるかは未定です。
★	今月は朗読発表会のチラシをお届けしたくて、記事が少なくなっていました。25グラム内にしたいので・・・。
★	あかりやの入り口横に、プランターを置きました。今3色のカラシコエの花が咲いています。「春らしくなったね。」とお客様。実はこのプランター、道路に面した入り口の片隅に猫さんが隠れてごはんを食べるスペースを作りたいという店長の猫愛から出たものです。でも花があるっていいですね。

編集後記	
だんだんと春に近づいてきましたね。たまぺーは、やっと風邪から復活しました！この時期は、やっぱり弱いみたいです・・・。 さてさて、あかりやでは朗読発表会へ向けての練習一足です(^_<) 朗読の会のメンバーも増えてきていて、また今までと違う発表会になるかなと思ってます。最近のたまぺーの近況を少し。 今一番行きたいところがあって、三宮にあるワピオカミルクティーのお店です。	去年の12月にオープンしたばかりで、土日になると行列が出来ています(^_<)友達から聞いて、ずっと行けていなくて、来月には行けたらいいなと思ってます。メニューにある「盆栽ミルクティー」が、気になって気になって仕方ないたまぺーでした(o^^o)  たまぺー

☆

ほっとNEWS

☆

2019年2・3月 NO.130


〒653-0853
神戸市長田区庄山町2丁目5番地13号
フットバンクスインターナショナルビル 1F
特定非営利活動法人 ほっとぽっと
TEL/Fax 078-766-1356
Email/hot-pot@hi-net.zaq.ne.jp
発行責任者 森岡 千代
編集責任者 松本 絵里奈

目次

秋桜(コスモス)・・・現実の人生を生きて欲しい・・・	P.1
プリーズ・オープン・ザ・ドアー(9)	P.2
まゆみのわくわくコラム さくらねこしまちゃん(6)	
りすさん&お兄ちゃん結婚の話しよう(7)	
ほっとぽっと朗読発表会	P.3、4
ちーちゃんのひとこまエッセー	P.5
サキモト女史近況 さきもと百合の映画談議	
ほっとぽっと このごろ ・ 編集後記	P.6



秋桜(コスモス)・・・現実の人生をいきてほしい

ほっとぽっとの周りで、今「秋桜」というLINEグループが生まれています。三刀谷さんと理恵さんの自立生活を応援しよう・・・応援と言うよりも少し強く、支援できる体制を作っていこうというグループです。まだ生まれたばかりで、メンバーの思いが同じというところまでは行っていないんですが。

施設で30数年を過ごした、50歳過ぎのカップル。「今更、もういいんじゃないの?」「大変な思いをさせるだけ」「本当に、本人達がそうしたいという強い意志を持ってるの?」

そんな声が聞こえてきそうです。でも、誰にとっても一度の人生、二人にとって夢だった結婚・自立生活を実現するとしたら、今しかないのです。今までは制度などが整わず周りのひとも支援しきれなかった。今後年齢を重ねたら、二人は体力的に新しい事にチャレンジしていく事がしんどくなっていくでしょう。二人にとって今しかない最後のチャンスです。

夢のような話しかかも知れないけれど、一度でも、現実の人生で、苦勞して思いを実現する経験をして欲しい。「重度の障がい者」だって現実の人生を生きて欲しい。そう願うのは余計な事でしょうか?何より大切なのは本人達のしっかりした意思です。それを確認するのに、コミュニケーションに時間がかかったり、本人達があまりにも社会経験が無いと、自分達のありたい生活を思い描く事が困難だったり。事は急ぐのですが、支援者だけが熱くならないように、焦らず一つ一つ理解を確かめながら進めなければなりません。

支援の活動を現実のものとするために、一度は手放した、訪問介護、生活介護の事業所設立を考えています。さてどこまで行けるか・・・。私たちにしても「夢」なのです。

プリーズ・オープン・ザ・ドアー
傾聴のすすめ（9）

吉本 悦

傾聴＞無視、無視＞傾聴

なぜなのでしょう。差別の哲学とか、はじめは絶対無くならない、とか。考え方はそれぞれだから、でも、その先、その対処。誰からも救われないでいいのでしょうか。相手の話を聞く事、聴く事、対処の仕方があっても良いのではないのでしょうか。人は自分とは違う、相手を見下す事でしか自分を優位に保つ事が出来ずに、相手の気持ちなんて救う必要は無いのでしょうか。

自分だけ救われれば、それで納得して日常を過ごす事が大事なののでしょうか。それが多くの人の平常な心、支持なののでしょうか。そんな意見が多いのなら、そんな多数意見はいらない。

多数意見を疑う。少数意見を尊重する。多数意見を利用して欲しくない。でも、多数意見かどうか確証が有るのかな。無視しないで、人の話をただ聴いてうなづくだけの人であっても良い。そんな事を念じている。話を聞くなんて、誰にだってできるじゃないですか。相手を見て、そして注意深く。すると、何かすうーっと、浮かぶものがあるかもしれません。

りすさんとお兄ちゃん

結婚の話しよう（7）

去年の春、朗読ライブの時に、お兄ちゃんがりすさんにプロポーズ。「秋に式を挙げたい」と言っていたのが、「来年春には…」そして今また、「今年の秋に結婚式をしよう…」と延期。

二人が話し合って、次々事を進めて行ければいいのですが、それはなかなか難しい。いろいろな人の関わりがあり、みんなが「どうなの？」と固まっているような状況で、ここは誰かがお節介な音頭取りをする必要があるのかも。一つ一つ、二人の意思を確認しながら進める事が大切ですが、込み入った話をする場所が無いのも悩みです。

真弓のわくわくコラム・e・
「私の家族のマイブーム」

少し暖かくなりましたね。
私の家族のマイブームを紹介します。
今は、みんなの体調が良いから、旅です。
日本全国を回る事です。
3月は、18日から20日迄、3泊で、愛知県と静岡県の富士山を見に行きます。
私は、とても楽しみです。
秋は、長崎県のハウステンボスと大分県のサンリオピューロランドと、宮崎県に行きます。
私はルンルンです。
皆さんの『マイブーム』は何ですか？
まゆみ

さくらねこ しまちゃん（6）



寒さがゆるんで、街に猫の姿が多くなってきました。あかりやのシマちゃん、タマちゃんも元気で冬を越しました

シマちゃん
え・はっしー

ところで、二人のご家族は、と言うと、実はあまり積極的ではありません。どちらかと言うと「今のままでいい。」というのが本音のようです。私の周りのお母さん方に聞いても、「結婚は難しい問題」「できれば、一生、結婚には触れないで過ごしてくれたら…」という声がほとんどです。「結局この子達は何かあったら、親が引き取ってなんとかしなければいけないのだから、」と言う思いが根底にある様に思います。「障がいのある子が生まれたら、その子の一生は親の責任」としてきた長い歴史がそこにはあります。
親も子も、それぞれ独立した人格、独立した人生を生きる事が当たり前になるのは、まだまだ先のことなののでしょうか。

あっ！みーつけたよ
ちーちゃんのひとこまエッセー

初めまして
千尋おばちゃん
です



12月28日、ちーちゃんの妹さんに赤ちゃんが生まれました。
ハナちゃん、女の子です。ちーちゃんはおばちゃんになりました。

サキモト氏近況

2月に入って、サキモト女史が目覚めました。1月に厳しい寒波はあったけど、やっぱり今年は暖冬なんではないでしょうか。例年より1ヶ月早く冬眠から目覚めました。自作の物語を元にジオラマで再現してみたい！という事を思いついたのです。周りのみんなにはいまいちイメージがわからないんですが、女史は今その事に夢中です。

＊ おことわり ＊＊

今回は朗読発表会のチラシを3、4ページの代わりに入れるため、「お世話になってます」と「いらっしやいませあかりやへ」は、休載させていただきます。 ＊＊＊

さきもと百合の

映画談議

「アナ雪とディズニーについて」

こんにちは、さきもとです。
あ、忘れてました。明けましておめでとうございます。
今日は謝らなければいけない事があります。去年言いましたよね？「アナ雪」を見るって。でも、申し訳ないのですが少しだけしか見ていません。やっぱり、しょうもないなと思って、チャンネルを変えてしまいました。
なぜそう思ったかと言うと、男の人があまりにもイケメンではなかったからです。
私は小さい時に、ディズニー作品が大好きだったのですが、ある作品を見て私はビックリしてしまいました。
その作品は「アーサー王」だったのですが、日本の「アーサー王」はイケメンでカッコ良く描かれてありました。でも、ディズニー作品の「アーサー王」は細くてガリガリで、目だけが大きくて気色悪くて、それがショックで、なぜなんだろうと思った事を思い出しました。
あの頃から変わっていないのだな、アナ雪の男の人は、筋肉だけが付いていて、アゴがしゃくられていて、ポパイのようになっていました。
女の子は可愛いのに、なぜ男の人は描けないのかなと思ったら、思いついた答えは、日本人は鼻が高いのに憧れがありますよね。
ところが、アメリカの人は、自分達が高いのが当たり前ですよ？
その部分を想像して描くのが上手いのが、日本人だと思うんですよ。だから想像力豊かなのが日本人で、アメリカの人は自分達の事を当たり前過ぎて解ってないと思うんですよ。
だから、今日本のアニメが逆に人気があるのではないかなと思うんです。
まあ、私の勝手な思い込みかもしれませんが、皆さんはどう思いますか？

以上、さきもとゆりの映画談議でした！